







職場で一緒になった人(仮にA君とする)とお話である。その日はとても寒い日だった。搬入車両も多く、その対応で休憩が少し遅くなった。休憩所には誰もおらず2人だけである。私はA君の話を聞いていた。そこでA君は結婚しており、子供もいることを知った。そんな話の中で何気なく訊いた質問が問題だったのである!子供はいくつなの?という趣旨の質問をしたと思う。その時A君はちらりとこちらを見た。ちょっと間があく。



A君「えっ!? あっええ妻は〇〇歳です。」  
私「???」またちょっと変な間があいた。その変な空気を察したA君はすぐ通勤時間等の話題に移してくれた。休憩時間が終わり、立ちあがろうとした時、私の頭にピーンと電気が走る。全ての点が線に繋がったのだ!(まるで火曜サスペンス劇場のように)そう、正確には私はこう質問したのだ!「お子さんは何歳?」と。そして私は確信しているのだが、きっとA君は「おこさんは何歳?」ではなく「おくさんは何歳?」と聞き間違えたのだ!いや、きっとそうじゃない!あの日は歯がガチガチ鳴る位寒かった。元々滑舌の悪い私の事だ。「奥さん」と言っていたかもしれない。(それとも私の本能の奥にあるまったく別の力がそう言わせたのか?) たった、そうたった「こ」と「く」の違いである。たった1文字である。しかしである。大分意味合いが違ってこないか?この質問、大分プライベートな部分に入っていく気がする。(パワハラ? いやセクハラなのかな?) しかもA君とは一緒になったばかりだ。それなのにこんな質問してくるのか?と思われたかもしれない。(ああどうしよう。被害妄想ばかり膨らむ。)

もしA君に「変な先輩だな」と思われていたらどうしよう。もし家に帰って「今日先輩に変な質問されてさ」とか話されたらどうしよう。もしこのことを仲間内で共有され、K君やT君に「そうそう。あの先輩なら訊きそうだよな」なんて言われた日には、会社を休むかもしれない。(部屋にこもり、布団にまるまって両足をパタパタさせている自分が見える。) 実はこのことをまだA君に話していない。もうあれから2週間以上経っているのだ。(というか今更って感じだし。ひょっとしたら忘れているかもしれない。いやきっと忘れてる!!) でも何だか胸のモヤモヤが消えない。だからここで懺悔します!あの時休憩所でした質問は「奥さん」の年齢ではなく「お子さん」の年齢でした。今後まぎらわしい言葉遣いには気を付けていきます。



営業部部长 A のひとりごと...

長年愛用していたわたくしのまくらの隅から、そばがらがポロポロ...ついに壊れてしまいました。思い起こせばこのまくらとの出会いは高校生のときで20数年以上一緒に文字通り“まくらを共に”してきました。何度か修復をしながらともに過ごしてきましたが限界がきてしまいました。そこで今回、新しい相棒を探しに初売りで何店舗かお店を廻ってみると...色々あるんですね! 仰向け型、横向型、低反発...迷いに迷って購入! ワクワクしながら夜新しいまくらでおやすみなさーいと... あれ? 眠れない。(その日はそばがらがポロポロまくらで就寝) 次の日新しいまくらをもう一丁! 購入し就寝...眠れない(涙) まくらが悪いのではない、まくらの使い方が悪いのだ。まくらの正しい使い方調査!

- ①まくらの中身チェック。中身に偏りがいないか? バランスはとれているか?
  - ②首筋に隙間が開かないようにする。
  - ③まくらのふちに肩をきちんとあてる。(首と後頭部をまくら全体で支える)
  - ④寝返りを打つときは肩を軸にして、まくらの端まで頭を持っていく。
- これでみなさん2022年は安眠バッチリぐっすりです。わたくしは日々訓練をおこなっております。ポロポロまくらを使わなくてよい日を夢見て...



みなさん初めまして オカルト部の Mr. O・D・M です。

ごぞんじですか。オカルトとは英語で神秘的現象、超自然現象のことを言います。今宵はみなさまをオカルトの世界へご招待しましょう。

第一章 リンボン

この画像のおもちゃをしていますか? このおもちゃがリンボンです。みなさんパズル(ルービックキューブ)などで遊んだことがありますよね。しかし世の中には、世には出してはいけない闇の立体パズルがあります。あるカップルがアンティークショップに買い物に出かけた。店内を見わたしても良い商品がなく店を出ようとした時、彼女が突然なにかに引き寄せられるように人形をかき分け、正20面体の遺物を手に取り言った。「これ、すごい。今思えばなぜ奥にあった物が見えたのか不思議だ。彼女はこの遺物を購入した。説明書を見るとラテン語と英語と見たことのない言語で書いてあり、ルービックキューブのように回すと熊・鷹・魚に変形するとあった。3日目で熊が出来あがり、彼女は彼に連絡をした。ここから悲劇ははじまる。彼女はもはやなにかに取り付かれたようにリンボンを回し、あっという間に鷹を完成させた。残るは魚のみ。しかし次の日の夜、彼が自宅で風呂に入っていると彼女から30秒間隔で何度も着信があった。彼が彼女に電話をすると、「いたずら電話がかかってくる。すごいノイズしか聞こえない。着信表示が「かなた」(彼方)としかでてこない。」と言う。そしてつかれたから寝るねと言って電源を切った。この時魚はだいたい出来あがっていた。次の日彼女の携帯を見てもらいに行ったが異常は無し。出かけたついでに、気晴らしに占い師にみてもらおうと占いの館に立ち寄った。すると占い師は彼女を見た瞬間、「あなたの後ろに動物のオブジェの様な物が見えます。今すぐ捨てなさい。お願いですから帰ってください。それ以上は言いたくもない見たくもありません。あれは凝縮された極小サイズの地獄です!! 地獄の門です。捨てなさい。帰りなさい。」と叫び、二人は店を追い出された。このあとリンボンを持っているカップルは.....第二章につづく.....

皆さん、この話をどう取りましたか? オカルト部で会議の結果フィクションに近いとの結論になりました。リンボンと似ている話がこの日本にもあり、皆さんも「コトリ箱」一度は聞いたことがありますよね。これはまさに本物だと思えます。16個あったコトリ箱が2個残っていると伝えられています。さて、この続きが気になったそのあなた。今オカルトのとびらが開きました。ようこそオカルト部へ。内線〇×△〇。

編集 後記

ジェンダーという言葉をよく聞いたり目にするようになりました。ジェンダーとは、なんて軽々しく書ける内容ではないのですが、ちょっとびっくりするニュースありましたので取り上げてみました。アメリカNYでは、トイレが女性用男性用ではなく、オールジェンダー(全ての性)のフリートイレがスタンダードとなりつつある、ちょっと衝撃でしたね。一方では、出生証明書に書かれた性別に応じた男性、女性用トイレを使用する法案も新たに可決しているようです。これはこれで、ある意味納得。日本もアメリカの様々な面の後追いをすると考えると何年か後、日本にもこの波がじわじわ押し寄せて来るかもしれないです。提出書類の氏名欄の男女の記載がなくなる、学校の出席簿が男女混合、差別、差別と言いつづけるのも問題になる、日常を振り返ると、当然と思っていた行動、話していた事などが、もしかしたらジェンダーに縛られた思い込みがあるのかもしれない、男性だから、女性だから、という認識を、言葉、考え方、昭和生まれの私は少しずつでも改め、かつ気をつけなくてはと思います。しかしジェンダーニュートラル時代になったとしても、変わらないこと、人は支えられ、支えて生きています。皆誰かとつながり、助け合って生きています、身近な相手を理解し尊重し合うことが、個から社会、世界のジェンダー平等に、そして世界平和へ繋がると信じます。